ORACLE

Oracle WebLogic Server データ・シート

Oracle WebLogic Serverは、オンプレミスまたはクラウドにミッション・クリティカルなアプリケーションをデプロイするための、最上級のJavaアプリケーション・サーバーです。オラクルの製品およびサービスのポートフォリオと完全に統合されています。

2025年9月、バージョン1.1

Copyright © 2025, Oracle and/or its affiliates 公開

概要

Oracle WebLogic Serverは、ミッション・クリティカルなアプリケーションを開発およびデプロイするための標準ベースのAPIとツールを提供する、最上級のJavaアプリケーション・サーバーです。アプリケーションは、オンプレミスとクラウドで、物理マシン、仮想マシン、またはKubernetesクラスタで実行されているコンテナにデプロイできます。Oracle WebLogic Serverは、オラクルの製品およびサービスのポートフォリオ全体と統合されており、複数のエディションで利用できます。

Oracle WebLogic Server Standard Editionは、Java EE 8、Jakarta EE 8、およびJakarta EE 9.1のサポートと、高いパフォーマンス、信頼性、および管理性を併せ持っています。Oracle Java SE Supportが含まれています。開発ツールと管理ツールを使用してアプリケーションの開発とデプロイメントをサポートできます。それにはKubernetesでのデプロイメントのサポートも含まれます。Javaベースのマイクロサービス向けに、Helidonのサポートが含まれています。

Oracle WebLogic Server Enterprise Editionには、Standard Editionのすべての機能に加えて、クラスタリングとJava SE Advanced Editionが含まれています。構成済みのクラスタは、高度なメッセージングとトランザクション管理により、高いパフォーマンスと可用性を実現します。動的クラスタによって構成が簡素化され、ポリシーベースの柔軟なスケーリングが追加されます。

Oracle WebLogic Suiteでは、包括的でミッション・クリティカルなアプリケーション・インフラストラクチャが提供されます。これには、Enterprise Editionのすべての機能に加え、パフォーマンスとスケーラビリティのためのOracle Coherence Enterprise Edition、Oracle Database Real Application Clusters（Oracle Database RAC）との接続のためのWebLogic Active GridLink for Oracle Real Application Clusters（Active GridLink for Oracle RAC）、およびOracle Internet Application Server（Oracle iAS）Enterprise Editionが含まれています。

Oracle WebLogic Server for Oracle Cloud Infrastructure（OCI）は、オンプレミス・デプロイメントとの完全な互換性を備え、Oracle Cloud上でのプロビジョニング構成を簡素化します。Oracle Cloud Marketplaceから、Universal Credit（UCM）とBring Your Own License（BYOL）の価格モデルにより、複数のエディションを入手できます。

Copyright © 2025, Oracle and/or its affiliates / 公開

おもな機能と利点

Oracle WebLogic Server Standard Edition

- 標準のサポート：Jakarta EE 8、Jakarta EE 9.1、Java SE 17および21
- オンプレミスとクラウドのデプロイメント
- パフォーマンス、信頼性、管理性
- WebLogic DockerのイメージおよびWebLogic Kubernetes Toolkit
- マイクロサービス向けHelidon

Oracle WebLogic Server Enterprise Edition

- Oracle WebLogic Server Standard Edition、および以下の機能
- Oracle Java SE Advanced
- 高パフォーマンスと高可用性のためのクラスタ
- 柔軟なスケーリングのための動的クラスタ

Oracle WebLogic Suite

- Oracle WebLogic Server Enterprise Edition、および以下の機能
- Oracle Coherence Enterprise Edition
- Active GridLink for Oracle RAC
- Oracle iAS Enterprise Edition

Oracle WebLogic Server for Oracle Cloud Infrastructure（OCI）

- ベアメタル、VMでの簡素化されたプロビジョニング
- Universal CreditおよびBYOL
- オンプレミス・デプロイメントとの完全な互換性

Copyright © 2025, Oracle and/or its affiliates / 公開

ORACLE

Oracle WebLogic Server Standard Edition

Oracle WebLogic Server Standard Editionは、エンタープライズ・アプリケーションを迅速に構築するためのツールとテクノロジーを開発者に提供します。本番環境において、Oracle WebLogic Server Standard Editionは高いパフォーマンス、信頼性、および管理機能を提供し、エンタープライズ・アプリケーションおよびサービスの稼働を維持します。

簡素化された開発

Oracle WebLogic Server 14.1.2はJakarta EE 8、Oracle WebLogic Server 15.1.1はJakarta EE 9.1に対応しており、どちらもJava SE 17およびJava SE 21で認定されています。Oracle Java SE Supportが含まれています。開発者は、Eclipse、IntelliJ、その他の一般的なIDEを使用できます。Mavenプラグインは、Jenkinsやその他のツールに基づいて、Mavenリポジトリおよび継続的インテグレーション環境と統合されます。Helidonのサポートにより、Javaベースのマイクロサービスを開発するためのオプションが提供されます。Oracle JDeveloper 14.12は、Oracle Application Development Framework（Oracle ADF）14.1.2を利用するアプリケーションの開発環境を提供します。

業界をリードするパフォーマンスと信頼性

Oracle WebLogic Serverは業界をリードするパフォーマンスを実現しており、管理対象のサーバーとリソースを減らし、コストを抑えてサービス・レベルを満たすことができます。パフォーマンスの最適化と自己チューニング機能により、さまざまなアプリケーションにわたって、また業界標準のベンチマークにおいて高いパフォーマンスを実現します。障害が発生したサーバーの動的構成や自動再起動などの機能により、デプロイされたアプリケーションの信頼性が向上します。

優れた管理性

組込みの管理、診断、自動化ツールにより、管理と運用の効率が向上します。WebLogic Remote Consoleは、すべてのOracle WebLogic Server管理機能用に、グラフィカル・ユーザー・インタフェース（GUI）を備えています。WebLogic Scripting Toolを使用すると、コマンドラインとスクリプトベースの管理が可能になります。WebLogic診断フレームワークにより、高度な監視、診断、ポリシーベースの管理の自動化が可能になります。REST管理APIにより、オンプレミスおよびクラウド・デプロイメントに対するHTTPベースの監視と管理が可能になります。

WebLogic Kubernetes Toolkit

WebLogic Kubernetes Toolkitは、KubernetesにおいてOracle WebLogic Serverをデプロイおよび管理するためにオープンソースで開発された統合ツール・セットです。これにより、ユーザーは既存のOracle WebLogic Serverアプリケーションを Kubernetesに移行し、新しいアプリケーションをKubernetesにデプロイし、アプリケーションを監視および管理し、パッチ適用、アプリケーションの更新、およびアプリケーションのスケーリングを自動化できます。

Oracle Web Tier

Oracle Web Tierは、Oracle WebLogic Serverへのリクエストをプロキシするwebサーバーをサポートします。Oracle Web Tierには、Oracle HTTP Server 14.1.2、ApacheおよびMicrosoft IIS用のWebサーバー・プラグインが含まれています。

Oracle WebLogic Server Enterprise Edition

Oracle WebLogic Server Enterprise Editionには、Oracle WebLogic Server Standard Editionの全機能が含まれており、アプリケーションのパフォーマンスと可用性機能が強化されており、本番システムの詳細な診断機能が備わっています。

Copyright © 2025, Oracle and/or its affiliates / 公開

エンタープライズ・スケーラビリティとクラスタリング

クラスタリングにより、高い可用性と信頼性を備えたアプリケーションのスケーリングが簡素化されます。クラスタ全体の管理とデプロイメントにより、クラスタ環境の管理が簡素化されます。セッション・フェイルオーバー、メッセージング・サービスとトランザクション・サービスの自動サービス移行、ローリング・アップグレード、およびその他の機能が、システムの可用性を維持に役立ちます。
動的クラスタの自動化されたルールベースの柔軟なスケーリングを使用して、変化するアプリケーション要件に自動的に適応できます。

Java Mission ControlとJava Flight Recorder

Java Mission ControlとJava Flight Recorderは、Oracle WebLogic Server Enterprise Editionに付属しています。これらにより、ユーザーはJVMイベントをメモリ内バッファに記録し、インシデント後の分析のために保持することができます。WebLogic診断フレームワークはJava Flight Recorderと統合されており、Oracle WebLogic ServerとJVMのイベント分析を組み合わせて実行できます。

Oracle WebLogic Suite

Oracle WebLogic Suiteには、Oracle WebLogic Server Enterprise Editionの全機能が含まれており、もっとも要求の厳しい、企業の要件を満たすために、独自のパフォーマンス、可用性、スケーラビリティ、および管理機能が追加されています。

Oracle Coherence Enterprise Edition

Oracle WebLogic Suiteには、Oracle Coherence Enterprise Editionが含まれています。これは、ユーザーがアプリケーションのパフォーマンス、スケーラビリティ、信頼性を向上させることができる分散型インメモリ・データ・グリッドです。Oracle Coherenceを使用すると、WebLogic Serverアプリケーションに分散キャッシュを提供したり、グリッド内に存在するデータに対して分散処理を実行したりすることができます。Oracle WebLogic Serverでは、WebLogic Remote ConsoleやWebLogic Scripting Tool（WLST）などのツールを使用して Coherenceクラスタを管理でき、Oracle WebLogic ServerとOracle Coherenceに統合管理インフラストラクチャを提供します。

Active GridLink for Oracle RAC

Active GridLink for Oracle Real Application Clusters（Active GridLink for Oracle RAC）は、Oracle WebLogic ServerとOracle RACを統合します。GridLinkデータ・ソースは、Oracle RAC構成の変更からOracle WebLogic Server構成を分離しながら、Oracle RACクラスタに接続することで管理を簡素化します。ランタイム接続ロード・バランシングにより、アプリケーションのパフォーマンスとスケーラビリティが向上します。トランザクション・アフィニティにより、トランザクションが最大限のパフォーマンスと信頼性で処理されることが保証されます。高速接続フェイルオーバーにより、Oracle RACノード障害の検出と、残りのノードへのフェイルオーバーが高速化され、継続的な接続性が提供されて、システムの可用性が向上します。

Oracle WebLogic Server for OCI

Oracle WebLogic ServerアプリケーションをOracle Cloudにデプロイするための推奨ソリューションは、Oracle WebLogic Server for OCIです。Oracle Cloud Marketplaceのリストにより、Oracle Kubernetes Engine（OKE）を使用して、仮想マシン、ベアメタル・コンピューティング・インスタンス、またはKubernetes上にOracle WebLogic Server構成を迅速にプロビジョニングできます。価格は、オラクルのUniversal Credit（UCM）またはBring Your Own License（BYOL）のいずれかの価格モデルを使用して入手でき、オンプレミス・デプロイメントと完全な互換性があります。Oracle WebLogic Server for OCIを使用すると、使用した分の料金を支払うだけで、Oracle Cloudで簡単にOracle WebLogic Serverアプリケーションを開発、デプロイ、管理できます。

Copyright © 2025, Oracle and/or its affiliates / 公開

Oracle Databaseの統合

Oracle WebLogic Serverのすべてのエディションは、複数のデータベース製品をサポートしています。さらに、Oracle WebLogic Serverは、Oracle Database製品とクラウド・サービスのための特定の統合機能を実装しています。Oracle Databaseドライバは、構成と、最新のOracle Database 23ai機能を含むOracle Databaseインスタンスへの接続性を簡素化するためにバンドルされています。アプリケーション・コンティニュイティは、データベース接続が失われた場合でも、継続的なアプリケーション・サービスを提供します。Oracle Databaseのエディションベースの再定義（EBR）のサポートにより、アプリケーションの更新と、アプリケーションで使用されるデータベース・スキーマの必要な更新を調整できます。アプリケーション・サーバー層とデータベース層にわたる診断ツールは、Oracle Enterprise Managerから使用できます。Active GridLink for Oracle RACを使用すると、Oracle RACとの統合が可能になり、パフォーマンス、可用性、管理性が向上します。Oracle WebLogic ServerとOracle Databaseを組み合わせたマルチ・データセンター・デプロイメント向けの構成ガイダンスが提供されています。

Oracle Enterprise Manager

Oracle WebLogic Server Management Pack Enterprise Editionは、すべてのOracle WebLogic Serverエディションのアドオンとして使用できます。Oracle Enterprise Manager Cloud Controlを介したOracle WebLogic Serverドメインの管理が可能になります。これにはビジネス・トランザクション管理、パフォーマンス管理、診断管理、ライフサイクル管理、マルチドメイン環境を管理するためのプロビジョニングとパッチ適用などが含まれます。

Oracleミドルウェア、アプリケーション、サービスの基盤

Oracle WebLogic Server 14.1.2は、Oracle Fusion Middleware 14.1.2およびOracle Applicationsと、Oracle Cloudで使用可能な多くのPaaSおよびSaaSサービスのコア・ランタイムを提供します。これらの製品全体での共通のプロビジョニング、アプリケーション開発、管理、および統合機能により、Oracle WebLogic Serverで開発されたカスタム・アプリケーションとオラクルのミドルウェア、アプリケーション、およびクラウド・サービス・ポートフォリオ間の柔軟な統合が実現します。

関連製品

関連製品

Oracle Fusion Middlewareは、Oracle WebLogic Server上に構築され、多様なビジネス要件に対応するミドルウェア製品と機能の統合セットを構成します。

多くのOracle ApplicationsとOracle Cloud Servicesは、Oracle WebLogic Server上で実行されます。詳細については、該当するOracle ApplicationsとOracle Cloud Servicesのドキュメントを参照してください。

Oracle WebLogic Suiteは以下によって拡張されます。

- Oracle WebLogic Coherence Grid Editionのオプション
- Oracle BPEL Process Managerのオプション
- Oracle Service Bus
- Oracle SOA Suite
- Oracle Unified Business Process Management Suite Oracle

WebLogic Server Standard Editionは以下によって拡張されます。

- Oracle WebLogic Server Management Pack Enterprise Edition

Copyright © 2025, Oracle and/or its affiliates / 公開

サポート対象プラットフォーム

表1：Oracle WebLogic Serverのサポート対象プラットフォーム

プラットフォームのコンポーネント	サポート対象製品
オペレーティング・システム	Mac OS X（開発専用）Windows Linux（Kubernetesサポートを含む）
データベース	Oracle Database製品とサービス IBM DB2 Microsoft SQL Server MySQL
Webサーバー	Oracle HTTP Server Apache Web Server Microsoft IIS
Jakarta EEおよびJava SE	WebLogic 14.1.2 [Jakarta EE 8] WebLogic 15.1.1 [Jakarta EE 9.1] Java SE 17および21 （WebLogicの14.1.2より前のバージョンの製品ドキュメントを参照）
クラウド	Oracle Cloud オラクル認定のクラウド環境

Copyright © 2025, Oracle and/or its affiliates / 公開

まとめ

Oracle WebLogic Serverは、アプリケーションを構築するための最新の開発プラットフォーム、高いパフォーマンスと可用性を実現するランタイム・プラットフォーム、および効率的で低コストの運用を実現する豊富な管理ツールを提供します。オンプレミスまたはパブリック・クラウドでホストされる物理システム、VM、クラウド・ネイティブKubernetes環境でのデプロイメント・オプションを柔軟に選択できます。これは、オラクルのミドルウェア、アプリケーション、クラウド・サービス製品にとって重要な基盤テクノロジーです。業界で、このような幅広い機能と戦略的なベンダー・コミットメントを持つアプリケーション・サーバーは他にありません。Oracle WebLogic Serverで次世代のアプリケーションを構築してください。

Connect with us

+1.800.ORACLE1までご連絡いただくか、**oracle.com**をご覧ください。北米以外の地域では、**oracle.com/contact**で最寄りの営業所をご確認いただけます。

blogs.oracle.com facebook.com/oracle twitter.com/oracle

Copyright © 2025, Oracle and/or its affiliates.本文書は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載されている内容は予告なく変更されることがあります。本文書は、その内容に誤りがないことを保証するものではなく、また、口頭による明示的保証や法律による黙示的保証を含め、商品性ないし特定目的適合性に関する黙示的保証および条件などのいかなる保証および条件も提供するものではありません。オラクルは本文書に関するいかなる法的責任も明確に否認し、本文書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。本文書はオラクルの書面による許可を前もって得ることなく、いかなる目的のためにも、電子または印刷を含むいかなる形式や手段によっても再作成または送信することはできません。

Oracle、Java、MySQLおよびNetSuiteは、Oracleおよびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標です。

Copyright © 2025, Oracle and/or its affiliates / 公開